

COVID-19における高齢者・障害者施設の感染対策の課題

- 平時から**感染対策に関する**施設体制や相談体制の不足
- 有事に**活用できる**マニュアルと**中核的**人材育成の不足

滋賀県感染対策地域支援ネットワーク(Shiga HAI-Net)を設置。
施設における人材育成に関し協議



滋賀県認定『感染制御リーダー』を育成

10年後の目標とする姿
施設が恒常的に自立した感染対策を行える

リーダーの役割



- ✓ 各施設で適切な感染対策を主導する
- ✓ 各施設で感染対策および事例対応を中核として検討できる
- ✓ 課題をリーダー間や地域の保健所やICN等と連携し解決できる

1. クオリティの担保

- 施設長推薦
- 施設を使用した実地研修
- **CNIC過程に準じた**講義内容
- **修了試験** (6割以上合格)
- 3年ごとの更新制度

2. インセンティブ

- **知事による認定証**発行
- 県HPに認定者・施設名を掲載
- 医師会と共催:
→ 高齢者(障害者)施設等感染対策向上加算(Ⅰ)
加算要件に本研修を該当させる

3. フォロー体制

- 1回/年フォローアップ研修の開催
- 滋賀医大に感染対策相談窓口を開設
- リーダー施設間の相互ラウンドや合同研修のサポート

感染制御リーダー育成のための研修

特色

- 3日間の講義+実地研修（全日程受講が必須）
 - 一般研修として、講義(1、2日目)を広く介護関係者等にWEB公開
- 【1日目】 **看護専門学校の実習室**を利用した、各ケア時の感染対策実地研修
- 【2日目】 **CNIC履修過程に準じた**研修内容
- 【3日目】 ① 高齢者施設各圏域 7箇所+障害者施設1箇所にて開催
② 受講者施設を利用したゾーニング・施設ラウンドの**実地研修**
③ 事前に各所属施設のマニュアルを検討し、グループ協議

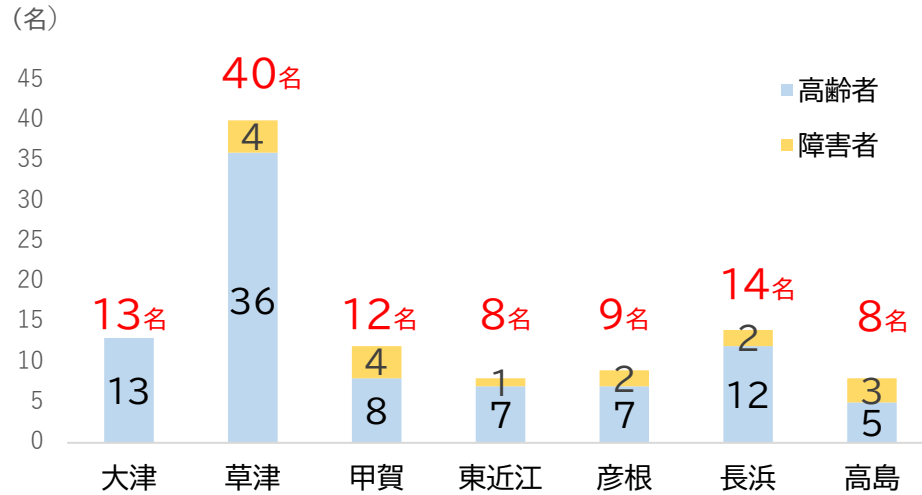


研修会の
風景

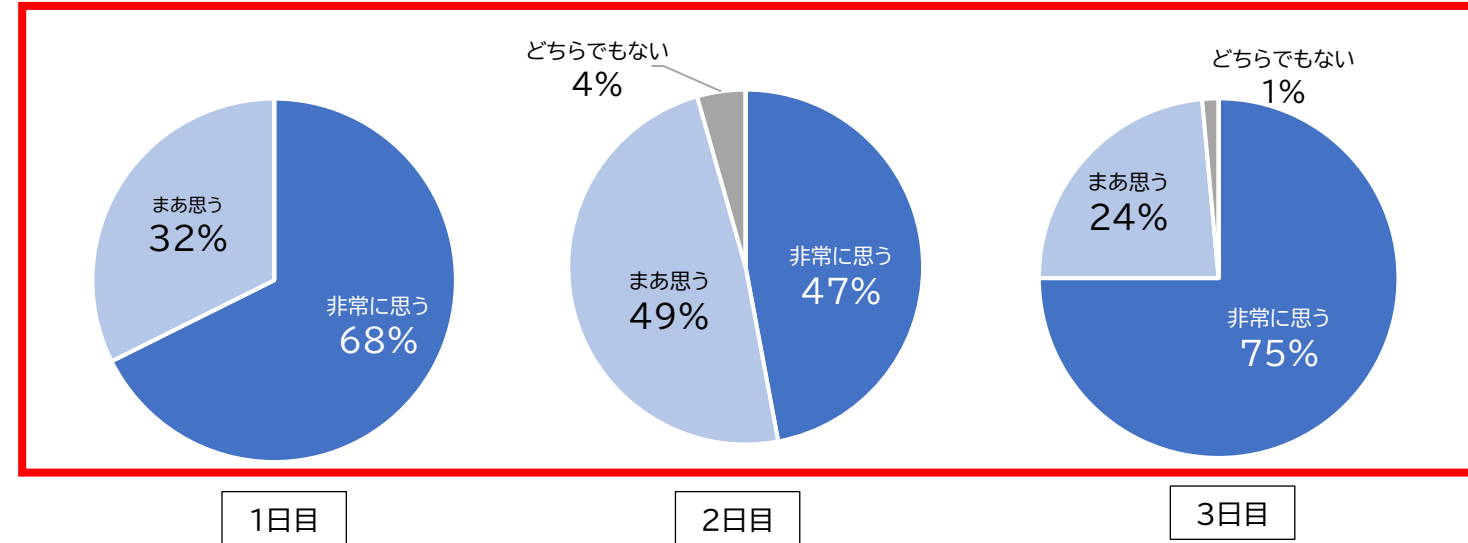


受講後アンケート結果

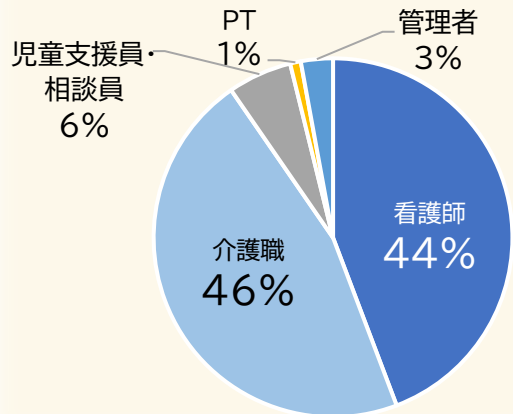
【 圏域別受講者施設分類 (n=104) 】



【 研修はとても勉強になる内容だったか(n=77) 】



【 受講者の職種分類 (n=104) 】



【 自由記載】

- 少人数で実際の施設を見せていただくことで講義内容も一層頭に入ってきた
- 他施設のラウンドを行うことで自施設の修正点がよくわかった
- 同期が出来て個々で行うのではなく他施設のリーダーとも色々情報共有いくことが、これからの強みになると思う
- 1日目の実技演習では実際にやってみて、対策の難しさを実感できてよかった